



くみはまだより

令和2年7月25日 発行：久美浜市民局（69-0716）

<7月号>



コウノトリ、続々巣立つ 地元団体が、市に写真を寄贈



▲「コウノトリと共に育つコメ作りグループ」
（野村重嘉代表：写真左）からいただいた写真。
コウノトリの写真の撮影：美王恵次郎氏

久美浜町市場の人工巣塔で育っていたコウノトリのヒナ2羽が、6月25日と同30日に、相次いで巣立ったことが確認されました。
この2羽には、地元の方から、「なでしこ」（メス・足環：左黄赤・右赤赤）、「千年」（オス・同：左黄青・右赤赤）という愛称が付けられており、地元で環境にやさしい農業に取り組む「コウノトリと共に育つコメ作りグループ」（野村重嘉代表）をはじめ、地域の方々が見守ってきました。
今回、同グループから市役所及び久美浜市民局に、この2羽の写真を寄贈いただきました。

さい。
久美浜町内では、永留巣塔でも、少なくとも3羽のヒナが確認されており、更なる巣立ちが期待されます。
【お願い】
コウノトリを観察される際は、以下の点に留意ください。まずようお願いいたします。
・巣に接近しての観察、撮影はおやめください。特に、ドローンや高所作業車等は絶対に使用しないでください。
・私有地や進入禁止の農道等には立ち入らないようにするとともに、駐車トラブル等、近隣の営農等の妨げにならないよう、十分な注意をお願いします。
・コウノトリは野生動物ですので、エサは与えないでください。



▲久美浜駅に停車中の「城崎・天橋立ダイレクト」

一部、久美浜駅に停車します。

臨時快速「城崎・天橋立ダイレクト」が、西日本旅客鉄道（株）福知山支社、WILLER TRAI NS（株）、（株）日本旅行、京都府中丹広域振興局、京都府丹後広域振興局及び兵庫県但馬県民局は、7月1日から10月31日まで、「近畿のキタだよ、北近畿！」キャンペーンを実施しています。
これは、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ、京都府北部、兵庫県北部の観光需要の早期回復を目的に行われているものです。
この取り組みの一環として、臨時快速「城崎・天橋立ダイレクト」が運行されます。

「ダイレクト」が運行されます。このうち、久美浜町内では、午前中の便が、久美浜駅に停車します。
運行日及び運行時刻は、次のとおりです。
【運行日】
8月22日（土曜日）から9月27日（日曜日）までの土・日・祝日（計14日間）
【運行時刻】
城崎温泉（9：52発）
豊岡（10：07発）
久美浜（10：26発）
天橋立（11：18着）
天橋立駅では、特急たんごリレー4号（11：53発）及び丹後あかまつ2号（12：00発）にも乗り継ぐことができます。大変便利な時刻になっています。
使用する車両は、JR西日本の観光列車「うみやまむすび」ですが、急遽の検査等により他車両で運転される場合があります。



献血のお知らせ

8月7日（金曜日）に、久美浜市民局で献血が実施されます。ぜひ、ご協力をお願いします。



地域おこし協力隊が行く！

地域おこし協力隊の吉田浩士が、町内の様々な方取材する新コーナー。今回は、「田舎で働き隊」のOBで、株式会社田園紳士代表取締役の森下裕之さんを訪ねました。

吉田 お忙しい中、ありがとうございます。まず最初に、森下さん自身のことについて、教えてください。

森下 和歌山県出身で、平成25年度に、「田舎で働き隊」として京丹後市に移住しました。約3年間、「久美浜まるごとプロデュース協議会」の事務局で農業活性化に取り組み、その後、田園紳士という会社を設立して、引き続き、販路開拓や加工品の開発など、農業活性化に取り組んでいます。

現在、京丹後市で結婚し、最近、両親にも和歌山県から移住してもらいました。

吉田 販路開拓では、どんなことをしておられるのですか。

森下 農業者の方と一緒に、様々な展示会に出展し、都市部の百貨店やデパート、レストラン等への販路を開拓していきました。また、生産者の希望価格での販売を目指し、市場価格より良い価格で取引できるようにしています。

吉田 新型コロナウイルス感染症の影響はありましたか。

森下 都内のレストランやホテルは、かなり動きが止まりましたが、スーパーや百貨店は、比較的いつも通り動いていた感触があります。しかし、給食関係や収穫体験などをしているところは大変だったようです。

吉田 「ファイトリッチ野菜」というのも手掛けておられるとお伺いしたのですが。

森下 「ファイトリッチ野菜」は、タキイ種苗株式会社が開発した商品で、京都市内のレストランでフェアを開催してらうなど、弊社でも積極的に取り組んでいます。フェアでは、トレーマツトなどに生産者の顔を掲載してもらっています。

吉田 「加工品の開発」では、どんなものを開発しておられるのですか。

森下 たとえば、丹後バールの関さんと協力し、よさのうみ福祉社会に製造を

委託し、「さつまいもの缶詰」を開発しています。賞味期限が1年と長いので、防災等にも役立てられると思います。

吉田 「フルーツトレイル」にも関わっておられるとお聞きしましたが。

森下 国道178号線沿いを主に、直売所でフルーツを活用したドリンクやスイーツなどを提供するもので、観光振興課が支援しているものです。

もともと果樹農家は直売所の売上も重要な収入の一部ですが、各農家の昔からのファンで毎年購入される消費者も高齢化しており、購入数が減少してきているようです。

そこで、フルーツトレイルのような、若者向けの集客は大事だと思っています。観光バスの車内でガイ



▲久美浜まるごと実践会議が行った「旬べじ」事業で、「FM たんご」にも出演（写真中央）、ファイトリッチ野菜についてお話ししました。

式会社が開発した商品で、京都市内のレストランでフェアを開催してらうなど、弊社でも積極的に取り組んでいます。フェアでは、トレーマツトなどに生産者の顔を掲載してもらっています。



▲首都圏での販売風景

ドをしたこともあるのですが、地元で観光ガイドができるような方が必要だと感じています。また、フルーツトレイルと組み合わせで行ける場所が必ずだと思っています。

吉田 蒲井地区では、シカヤックを行っています。一緒にできないでしょうか。

森下 ぜひ、一緒にやりたいと思います。近いうちに、蒲井に行かせてください！

<取材を終えて>

- ・話の中で、ツアーガイドの重要性について話されていたのが印象的でした。
- ・ちょっとした情報を、ガイド中にタイムリーに伝えることで、何倍にも楽しく感じると聞いたときは、「なるほど」と思い、伝える重要性を感じました。
- ・移住者の先輩として、事業を運営されている姿に刺激を受けました。